

構成団体	意見・要望等		事務局の考え方
	該当ページ・行	内容	
佐渡地域振興局	P24 2行目	「～地域共生社会の実現に向け、をを目指します。そのため住民団体等」に修正したらどうか	意見のとおり変更としたい。
	P11 2行目	現在「家族と暮らしている」が46.2%あり、3年後「家族と一緒に生活したい」割合が39.8%ということは、家族と一緒に暮らしたくない人のほうが多いということか。	「家族と暮らしている」と答えている方の8割の方は引き続き家族と暮らしたいと答えているが、2割の方は、施設や一人暮らしを希望しており全体としての割合は低い結果となった。
	P14、P18	本文では「利用希望の割合が高くなっている」とあるが、図では「利用予定がある」と記述されている。また利用希望の多いサービス名が記述と一致していない。	増減B-Aの比率が多いサービスについて今後の利用希望があると分析している。
	P19(6)見出し	「18歳以上」の「以上」は不要ではないか。	アンケート調査票に「18歳以上」と表記しており、整合性の観点から原文のまま掲載とした
	P26 図4-1	28年度の目標入所者数117名に対し実績が119名とあるが、入所者の内訳としては、地域移行した者が多いのか、そのまま入所し続けている人が多いのか。どの程度移行しているのか。	島内施設における地域移行者数は0人である。2人の増は市外施設施設者の数値である。
	P29 図4-5 同 図4-7	28年度の利用者目標数43人のところ、実績は18人(41.9%)とあるが、実績が少ない要因をどのように分析しているのか。	新規利用者の減少(就労継続支援B型の利用増加も要因)
	P35 図4-13	就労継続支援(A型)の人日の計画が、30年度、元年度は0のところ、2年度は110人と大幅に増加している理由	令和5年度末までに1箇所を整備目標としたため
	P45～P46	就労移行支援事業について、元年度を超える意欲的な目標を定めているが、目標達成に向けてどのような具体的な方法を考えているのか。	ハローワークや障がい者就業・生活支援センターと連携し、一般企業に障がいに対する理解を深めるため作業所・利用者等との交流会やセミナーを実施し、障がい者雇用の促進を図りたい
	計画全般	利用したいサービス(19頁)として「就労支援AB」「就労移行支援」とあり、また不足していると感じるサービス(22頁)に「就労継続支援B」とあります。就労支援事業は、本人の自立につながる重要な施策と考えられることから、重点的に力を入れて取り組むことが適当と思われれます。	利用者の希望に沿えるよう関係機関と協力しながら目標達成に向け取り組みたい。
とき福祉会	P9～P23	前回アンケートと差があるようなところがあるか。	前は、障がい者福祉計画の見直しもあったため、広く手帳所持者全員にアンケートを取ったが、今回は、サービス見込量の見直しであったため、サービス利用者を中心に利用意向等を調査したので一概に比較は難しい。前回と同様に日中活動系サービスや共同生活援助の利用意向が多い結果となっています。
	その他	概要版を作成しますか	作成を予定しています。
	その他	協議会参加者について、NPOとか相談機関の団体をいれてはどうか？	来年度以降の開催に向け検討します。
佐渡市社会福祉協議会	P60表中成年後見制度 法人後見支援事業内容等3行目	「…、市民後見の活用も含めた法人後見の活動を支援…」に修正したらどうか	意見のとおり変更としたい。
事務局	P4 図2-2	-	別紙のとおり提案